

川崎市労働資料デジタルアーカイブを公開します！ ～産業都市川崎の礎にふれて、「未来の働く」を考える～

川崎市労働資料室では、産業都市川崎の礎にふれて、「未来の働く」を考える拠点として、労働資料等の一部をデジタル化し、「川崎市労働資料デジタルアーカイブ」を公開します。

デジタルアーカイブでは、川崎市が昭和25年から発行している「かわさき労働情報」や「川崎労働史」などのデジタル資料を掲載するとともに、収蔵する労働資料を検索することが可能です。

将来にわたり持続的に収蔵、閲覧ができるとともに、デジタル化による検索性や閲覧性など、利便性を高め、より多くの方が労働資料に触れられる機会を創設します。

【公開日】令和7年4月22日（火）

【URL】https://jmapps.ne.jp/k_roudou/



<トップページ>



<登録数>	目録	約 41,000 点
	デジタル資料	約 250 点
	動画	約 15 点

<川崎市労働資料室について>

労使に関する各種資料を収集・整備し、情報提供や分析を行うことで、勤労者の地位向上を図ることを目的として、昭和51年10月1日、旧労働会館内に設置し、労使間の諸問題や勤労者福祉の向上を図る調査・研究などについて、勤労市民、経営者、研究者、市民等の労働分野の活動に役立つ専門図書館を目指し、労働関係図書をはじめ、雑誌、新聞、機関誌、各種調査資料などを収蔵しています。

なお、教育文化会館と労働会館の再編整備により、令和5年8月から川崎市民館・労働会館の供用開始する令和8年9月までの労働会館が休館する期間、教育文化会館に仮移転し、運営を継続しています。

問合せ先
川崎市経済労働局労働雇用部 加藤
電話 044-200-2298